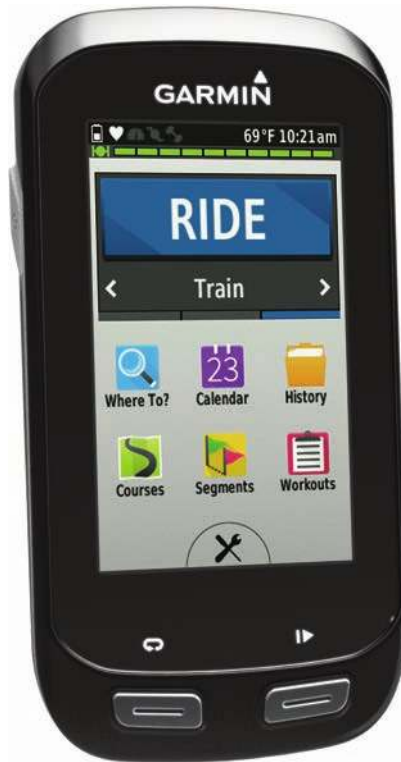


# Edge 1000

## クイックリファレンスガイド



All rights reserved. Under the copyright laws, this manual may not be copied, in whole or in part, without the written consent of Garmin. Garmin reserves the right to change or improve its products and to make changes in the content of this manual without obligation to notify any person or organization of such changes or improvements. Go to [www.garmin.com](http://www.garmin.com) for current updates and supplemental information concerning the use of this product.

Garmin<sup>®</sup>, the Garmin logo, ANT+<sup>®</sup>, Auto Lap<sup>®</sup>, Auto Pause<sup>®</sup>, City Navigator<sup>®</sup>, Edge<sup>®</sup>, and Virtual Partner<sup>®</sup> are trademarks of Garmin Ltd. or its subsidiaries, registered in the USA and other countries. BaseCamp<sup>®</sup>, Garmin Connect<sup>®</sup>, Garmin Express<sup>®</sup>, Varia<sup>®</sup>, and Vector<sup>®</sup> are trademarks of Garmin Ltd. or its subsidiaries. These trademarks may not be used without the express permission of Garmin.

The Bluetooth<sup>®</sup> word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Garmin is under license. Di2<sup>®</sup> is a trademark of Shimano, Inc. Shimano<sup>®</sup> is a registered trademark of Shimano, Inc. Mac<sup>®</sup> is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. microSD<sup>®</sup> is a trademark of SD-3C, LLC. Training Stress Score<sup>®</sup> (TSS), Intensity Factor<sup>®</sup> (IF), and Normalized Power<sup>®</sup> (NP) are trademarks of Peaksware, LLC. Windows<sup>®</sup> is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries. Wi-Fi<sup>®</sup> is a registered trademark of Wi-Fi Alliance Corporation. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

This product is ANT+<sup>®</sup> certified. Visit [www.thisisant.com/directory](http://www.thisisant.com/directory) for a list of compatible products and apps.

M/N: F4ACGQ00

# 目次

<b>イントロダクション</b> .....	<b>1</b>
はじめに	
製品の充電	
電池について	
標準のマウントを取り付ける	
アウトフロントマウントを取り付ける	
Edgeの取り外し.....	<b>2</b>
製品の電源を入れる	
ボタン	
ホーム画面の概要	
タッチスクリーンを使う	
接続ページを見る	
バックライトを使う	
衛星を取得する	
<b>Training (トレーニング)</b> .....	<b>3</b>
自転車に乗る	
アラート	
範囲アラートを設定する	
定期的アラートを設定する	
ワークアウト	
ウェブ上からのワークアウト	
ワークアウトの作成	
ワークアウトの反復	
ワークアウトの開始.....	<b>4</b>
ワークアウトの中止	
ワークアウトの編集	
ワークアウトの消去	
バーチャルパートナーを使う	
コース	
製品でコースを作成する	
ウェブからコースに続く	
コースでトレーニングをするヒント	
地図上でコースを表示する	
コースの詳細を見る	
コースの速度を変更する.....	<b>5</b>
コースを中止する	
コースを消去する	
コースのオプション	
<b>Segments (セグメント)</b>	
ダウンロードしたセグメントをたどる	
セグメントを有効にする	
セグメントと競争する	
セグメントの詳細を見る	
セグメントのオプション	
セグメントの消去	
カレンダー	
Garmin Connectのトレーニングプランを使う.....	<b>6</b>
予定したアクティビティを始める	
個人の記録	
個人の記録を消去する	
個人の記録を復活させる	
トレーニングゾーン	
<b>ANT+ Sensors (ANT+センサー)</b>	
ハートレートモニターをつける	
心拍ゾーンを設定する	
心拍ゾーンとは	
心拍データの異常についてのヒント	
フィットネス目標.....	<b>7</b>
スピードセンサーを取り付ける	
ケイデンスセンサーを取り付ける	
スピードセンサーとケイデンスセンサーとは	
ケイデンスやパワーのデータ平均	
<b>ANT+ センサーとペアリングする</b>	

パワーメーターでトレーニングする	
パワーゾーンを設定する.....	<b>8</b>
パワーメーターを校正する	
<b>Pedal-Based Power</b>	
サイクリングダイナミクス	
サイクリングダイナミクスを使う	
Vectorの特徴をカスタマイズする	
製品を使いVectorソフトウェアをカスタマイズする	
ShimanoのDi2シフターを使う	
ウェイトスケール (体重計) を使う	
状況確認.....	<b>9</b>
<b>History (履歴)</b>	
走行を見る	
走行を消去する	
データ合計を見る	
Garmin Connectに走行を送信する	
Garmin Connect (ガーミンコネクト)	
Bluetooth接続機能	
スマートフォンとペアリングする	
Wi-Fi接続機能.....	<b>10</b>
Wi-Fi接続を設定する	
無線のネットワークに接続する	
他のEdge製品にファイルを移行する	
データの記録	
データ保持の場所を変更する	
メモリーカードを取り付ける	
データ管理	
製品にパソコンを繋げる	
製品にファイルを移行する	
ファイルを消去する.....	<b>11</b>
USBケーブルを外す	
<b>Navigation (ナビゲーション)</b>	
位置	
位置を保存する	
地図から位置を保存する	
位置にナビゲートする	
知っている座標にナビゲートする	
始めに戻るナビゲートをする	
ナビゲートを停止する	
位置を見積もる	
位置を編集する	
位置を消去する.....	<b>12</b>
ルートの計画を立てて走行する	
ラウンドトリップルートを作る	
ルート設定	
ルート計算のためのアクティビティを選択する	
地図設定	
地図方位を変更する	
高度な地図設定	
追加の地図を購入する.....	<b>13</b>
住所を見つける	
肝心なポイントを見つける	
近くの位置を見つける	
地形上の地図	
<b>製品をカスタマイズする</b>	
プロフィール	
アクティビティプロフィールをアップデートする	
ユーザープロフィールを設定する	
ライフタイムアスリートとは	
Bluetooth設定	
Wi-Fi設定.....	<b>14</b>
トレーニング設定について	
データ画面をカスタマイズする	
自動ポーズを使う	
位置によってラップをつける	

距離によってラップをつける	
自動スクロールを使う	
スタート案内を変更する	
システム設定	
GPS設定.....	15
室内でのトレーニング	
高度を設定する	
衛星を確認する	
画面設定	
データ記録設定	
測定の単位を変更する	
製品の音を設定する	
製品の言語を変更する	
構成設定を変更する	
タイムゾーン	
<b>製品情報</b>	
仕様	
Edge仕様	
ハートレートモニター仕様	
スピードセンサーとケイデンスセンサーの仕様	
製品ケア.....	16
製品を清掃する	
ハートレートモニターのケア	
電池交換	
ハートレートモニターの電池交換	
スピードセンサー、ケイデンスセンサーの電池交換	
<b>トラブルシューティング</b>	
製品をリセットする	
ユーザーのデータを明らかにする	
稼働時間を最大にする	
自動スリープを使う.....	17
GPS衛星受信の向上	
より詳細な情報を得る	
温度測定値	
製品情報を見る	
Oリングを取り付ける	
サポートとアップデート	
ソフトウェアをアップデートする	
<b>付録</b>	
データ項目	
ハートレートゾーンの表.....	19
車輪のサイズと円周	
アフターサービス.....	20
保証書.....	21

# イントロダクション

## ⚠ 警告

製品に同封されている **Important Safety and Product Information** ガイドにて製品の注意事項やその他の重要な情報を確認してください。

エクササイズを行う時や変更する時は必ず医師に相談してください。

## はじめに

製品を初めて使う際は製品を設定し、基本的な特徴を知った上で次の作業を完全にします。

- 1 製品を充電します。(1ページ)
- 2 スタンダードマウントを使って製品を取り付けるか、(1ページ)アウトフロントマウントを使って取り付けます。(1ページ)
- 3 電源を入れます。(2ページ)
- 4 衛星を見つけます。(2ページ)
- 5 自転車に乗ります。(3ページ)
- 6 ガーミンコネク트에ユーザーのライドをアップロードします。(9ページ)

## 製品を充電する

### 注意

製品の腐食を防ぐために充電やコンピューター接続の前にUSBポートや保護キャップ、その周辺を完全に乾かします。

製品は家庭用コンセントを使って充電できるリチウムイオン電池、またはコンピューターのUSBポートに接続することにより電力を得て稼働します。

**注意:** 温度範囲が0° から40°C以外の時、製品は充電されません。

- 1 保護キャップを① USBポートから外します。②



- 2 USBケーブルの端の小さな部分を製品のUSBポートに差し込みます。
- 3 USBケーブルの端の大きな部分をACアダプターかコンピューターのUSBポートに差し込みます。
- 4 ACアダプターを壁のコンセントに差し込みます。製品は電源につながると起動します。
- 5 製品を完全に充電します。

## 電池について

### ⚠ WARNING

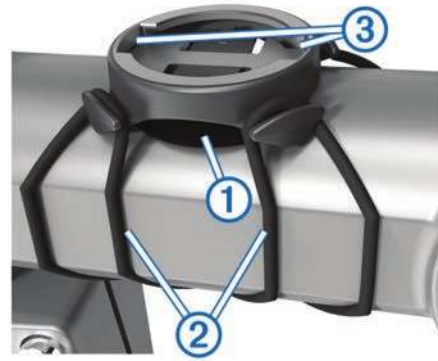
製品はリチウムイオン電池を含んでいます。 **Important Safety and Product Information** ガイドにて、製品の注意事項やその他の重要な情報を確認してください。

## 標準のマウントを取り付ける

より良いGPS受信のために製品の表を空に向かって方向付けてバイクマウントに置きます。ステムやハンドルバーにバイクマウントを取り付けることができます。

- 1 自転車の操作の妨げにならない、安全な位置に製品を置きます。

- 2 バイクマウントの背面にラバーディスクを取り付けます。① この時、ラバータブがバイクマウントと一致し、固定できるようにします。



- 3 バイクシステムにバイクマウントを取り付けます。
- 4 2つのバンドを使ってしっかりと取り付けます。②
- 5 製品の背面のタブとバイクマウントの切り込み部分を合わせます。③
- 6 本体を少し押し、製品が固定されるまで時計回りに回し取り付けます。



## アウトフロントマウントを取り付ける

- 1 自転車の操作の妨げにならない、安全な位置に製品を置きます。
- 2 ハンドルバーコネクターから② 六角レンチを使ってネジを外します。①



- 3 必要であれば、マウントの背面にある2つのネジを外し③ コネクターを回して④ ネジを取り付け、マウントの方向を変えます。
- 4 ハンドルバーの周りにラバーパッドを取り付けます。
  - ・ ハンドルバーの直径が25.4mmなら分厚いパッドを使います。
  - ・ ハンドルバーの直径が31.8mmなら薄いパッドを使います。
- 5 ラバーパッドの周りにハンドルバーコネクターを置きます。
- 6 ネジを取り付け、きつく締めます。

**注意:** ガーミンは7lbf-in(0.8N-m)のトルク仕様のネジをすすめています。定期的にネジが締まっているかどうかを確認してください。

- 7 バイクマウントの切り込み部分と製品の背面のタブを合わせます。⑤



8 本体を少し押し、製品が固定されるまで時計回りに回し取り付けます。

### Edgeの取り外し

- 1 Edge本体が外れるまで時計回りに回します。
- 2 マウントからEdgeを取り外します。

### 製品の電源を入れる

製品の電源を初めて入れると、システム設定とユーザープロフィールを設定するように表示されます。

- 1 を長押しします。
- 2 画面の指示に従います。

製品が（ハートレートモニターやスピードセンサー、ケイデンスセンサーのような）ANT+センサーを含んでいる場合は設定している間、それらを作動させることができます。

ANT+センサーの詳細はANT+センサー（6ページ）を参照してください。

### ボタン



①	スリープモードやそれを解除する際に選択します 画面をロックしたり電源をON/OFFする際は長押しします
②	新しいラップを記録する際に選択します
③	タイマーをスタート、ストップする際に選択します

### ホーム画面の概要

ホーム画面ではEdge製品の全ての機能にすばやくアクセスすることができます。

RIDE	自転車に乗る時に選択します
Train	アクティビティのプロフィールを変更する時に選択します
Where To?	位置を検索しナビゲートさせる時に選択します
Calendar	アクティビティ予定や過去のライドを見る時に選択します
History	ユーザーの記録や履歴を管理する時に選択します
Courses	コースを管理する時に選択します
Segments	セグメントを管理する時に選択します
Workouts	ワークアウトを管理する時に選択します
	設定のメニューを見る時に選択します

### タッチスクリーンを使う

・タイマーが作動している時は画面をタップしてタイマーを見ます。

自転車で乗っている間、タイマーを作動しながらホーム画面に戻ることができます。

- ・ は変化を保存したりページを閉じる時に選択します。
- ・ はページを閉じたり前ページに戻る時に選択します。
- ・ は前ページに戻るときに選択します。
- ・ はホーム画面に戻る時に選択します。
- ・ と はスクロールする時に選択します。
- ・ は近くの場所を検索する時に選択します。
- ・ は名称で検索する時に選択します。
- ・ は項目を消去する時に選択します。

### 接続ページを見る

接続ページはGPS、ANT+センサー、無線接続、ユーザーのスマートフォンの状態を表示します。

ホーム画面からステータスバーを選択するか、ページの最初から下へスワイプします。



接続ページが表示されます。光っているアイコンは製品が検索していることを意味しています。設定を変えるために別のアイコンを選択することができます。

### バックライトを使う

いつでも、画面上のどこでもバックライトをつけることができます。

- 1 ホーム画面から、ページの最初のステータスバーを選択します。
- 2 **Brightness** を選択してバックライトの明度と時間を調節します。
  - ・ 手動で明度を調節する時は と を選択します。
  - ・ 環境照明センサーに基いて自動で明度を調節する時は **Auto Brightness** を選択します。
  - ・ 時間を調節する時は、**Backlight Timeout** を選択し、オプションを選択します。

### 衛星を取得する


製品は衛星を取得するために空が見渡せる場所で行います。日時はGPSの位置に基いて自動的に設定されます。

- 1 屋外の開けた場所に行きます。  
製品の前面が上空に向いていることを確認します。
- 2 製品が衛星を探すまで待ちます。  
衛星を取得するまでおよそ30~60秒かかります。

# Training (トレーニング)


## 自転車に乗る

製品がANT+センサーと同梱されていたら、それらはすでにペアリングされており最初の設定中に作動させることができます。

- 1 ホーム画面から**RIDE**を選択します。
- 2 製品が衛星を探している間待ちます。
- 3  を選択してタイマーをスタートさせます。

Time <b>00:01:34</b>	
Speed <b>0.0<sup>m</sup><sub>h</sub></b>	
Distance <b>38<sup>f</sup><sub>t</sub></b>	
Time of Day <b>10:23:59<sup>A</sup><sub>M</sub></b>	
Calories <b>0<sup>C</sup><sub>k</sub></b>	Heading <b>N</b>

注意：タイマーが作動している間だけ記録されます。


- 4 さらなるデータページは画面をスワイプします。  
接続ページを見るにはデータページの最初から下へスワイプします。
- 5 必要であれば画面をタップしてタイマーを確認します。
- 6  を選択してタイマーをストップさせます。
- 7 **End Ride > Save Ride**を選択します。

## アラート

アラート機能では詳細な時間、距離、カロリー、心拍、ケイデンス、パワー目標についてトレーニングできます。アラート設定はアクティビティプロフィールと保存されます。

### 範囲アラートを設定する


オプションのハートレートモニターやケイデンスセンサー、パワーメーターを持っていれば範囲アラートを設定することができます。製品の計測で、ある一定の範囲の値を上回ったり下回ったりした時に知らせる機能です。例えば、ケイデンスが40RPMより下、90RPMより上になった時に知らせるように設定することができます。また、範囲アラートのためにトレーニングゾーンを使うこともできます。(6ページ)


- 1  > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Alerts**を選択します。
- 4 **Heart Rate Alert, Cadence Alert, Power Alert**を選択します。
- 5 必要であれば、アラートをつけます。
- 6 最小値と最大値を入力するかゾーンを選択します。
- 7 必要であればを選択します。

ある一定の範囲を上回ったり下回ったりする度にメッセージが表示されます。トーン音をONにしている場合はビープ音も鳴ります。(15ページ)

### 定期的アラートを設定する

製品がある数値や間隔に達した時に知らせる機能です。例えば、30分毎に知らせるように設定することができます。

- 1  > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Alerts**を選択します。
- 4 **Time Alert**か**Distance Alert**か**Calorie Alert**を選択します。

- 5 アラートをつけます。
- 6 数値を入力します。
- 7 を選択します。

知らせる数値に達する度にメッセージが表示されます。音声をONにしている場合は、警告音も鳴ります。(15ページ)

## ワークアウト

ワークアウトステップ、距離、時間、カロリーの目標を含むワークアウトを作ることができます。Garmin Connectを使ってワークアウトを作り、それを製品に移します。製品で直接ワークアウトを作り、保存することもできます。

Garmin Connectを使ってワークアウトの予定を立てることができます。あらかじめワークアウトの計画を立て、それらを製品に保存することができます。

### ウェブ上からのワークアウト

Garmin Connectからワークアウトをダウンロードする前に、Garmin Connectのアカウントを作らなければいけません。(9ページ)

- 1 USBケーブルを使ってパソコンに製品を繋げます。
- 2 [www.garminconnect.com](http://www.garminconnect.com)を開きます。
- 3 新しいワークアウトを作ります。
- 4 **Send to Device**を選択します。
- 5 製品を外し、電源をつけます。
- 6 **Workouts**を選択します。
- 7 ワークアウトを選択します。
- 8 **RIDE**を選択します。

### ワークアウトの作成

- 1 ホーム画面から**Workouts > Create New**を選択します。
- 2 ワークアウトの名前を入力し、を選択します。
- 3 **Step Type**を選択し、ワークアウトステップの種類を特定します。例えば、**Rest**を選択すると、レストラップとしてのステップで使われます。ラップを停止中、タイマーは作動し、データは記録されます。
- 4 **Duration**を選択し、ワークアウトステップでどのように計測するか指定します。例えば、**Distance**を選択したら、特定の距離に達すると終了します。
- 5 必要であれば、継続する数値を入力します。
- 6 **Target**を選択するとステップ中に目標を選択できます。例えば、**Heart Rate Zone**を選択するとそのステップ中は継続して心拍を表示し続けます。
- 7 必要であれば、**target zone**を選択するか、任意の範囲を入力します。例えば、**heart rate zone**を選択します。特定の心拍数を上回ったり下回ったりする度に、製品は警告音を鳴らし、メッセージを表示します。
- 8 を選択してステップを保存します。
- 9 **Add New Step**を選択し、さらにステップを加えます。
- 10 を選択し、ワークアウトを保存します。

### ワークアウトの反復

ワークアウトを繰り返し行う前に、ワークアウトステップを最低1つ作成しておく必要があります。

- 1 **Add New Step**を選択します。
- 2 **Step Type**を選択します。
- 3 オプションを選択します。
  - ・ **Repeat** はステップを1回、またはそれ以上繰り返します。例えば5kmのステップを10回反復することができます。
  - ・ **Repeat Until**は特定の継続数値内でステップを反復します。例えば、60分間で5kmのステップを反復、心拍が160bpmになるまで5kmのステップを反復することができます。

4 **Back To Step**を選択し、反復するステップを選択します。

5 **✓**を選択し、ステップを保存します。

### ワークアウトの開始

1 ホーム画面から**Workouts**を選択します。

2 ワークアウトを選択します。

3 **RIDE**を選択します。

ワークアウトを始めると、製品は各ワークアウトのステップ、目標（設定済みの場合）、直前のワークアウトデータを表示します。ワークアウトステップが終了間近になるとアラーム音が鳴ります。メッセージが表示され、次のステップが始まるまでの時間、または距離をカウントダウンします。

### ワークアウトの中止

・ **🔊**を選択するとワークアウトステップが終了します。

・ **▶**を選択するとタイマーがストップします。

・ 画面の1番上から下へスワイプして接続ページに行き、**Press to Stop >✓**を選択するとワークアウトが終了します。

### ワークアウトの編集

1 ホーム画面から**Workouts**を選択します。

2 ワークアウトを選択します。

3 **✏**を選択します。

4 ステップを選択し、**Edit Step**を選択します。

5 必要な変更を行い、**✓**を選択します。

6 **🔄**を選択し、ワークアウトを保存します。

### ワークアウトの消去

1 ホーム画面から**Workouts**を選択します。

2 ワークアウトを選択します。

3 **✏ > 🗑 > ✓**を選択します。

### バーチャルパートナーを使う

バーチャルパートナーはユーザーをゴールに導く手助けをするトレーニングツールです。

1 自転車に乗ります。

2 バーチャルパートナーページにスクロールし導く人を見ます。



3 必要であれば**+**や**-**を使って自転車に乗っている間、バーチャルパートナーのスピードに合わせます。

### コース

**以前記録したアクティビティをたどる:** 良いルートであれば、保存したコースに沿って走行することができます。例えば、通勤に適した自転車を保存し、たどることができます。

**以前記録したアクティビティに対抗する:** 以前保存したコースに沿って走行し、以前の記録に対抗したり、目標を越えたりすることができます。例えば、以前のコースが30分で走行したコースなら、バーチャルパートナーに対して30分以内で走行できるよう競争することができます。

**Garmin Connectにあるコースに続く:** Garmin Connectから製品にコースを転送することができます。1度製品に保存すれば、コースに沿って走行したり、コースに対抗して走行することもできます。

### 製品でコースを作成する

コースを作成する前に、GPSデータがあるアクティビティを製品に、保存しなければなりません。

1 **Courses > Create New**を選択します。

2 コースの基本となるアクティビティを選択します。

3 コースの名前を入力し、**✓**を選択します。

4 **✓**を選択します。

リストにコースが表示されます。

5 コースを選択し、コースの詳細を見直します。

6 必要であれば**Settings**を選択し、コースの詳細を編集します。例えば、コースの名前や色を変更することができます。

7 **🔄>RIDE**を選択します。

### ダウンロードしたコースをたどる

Garmin Connectからコースをダウンロードする前に、Garmin Connectのアカウントを作らなければいけません。

(9ページ)

1 USBケーブルを使って製品をパソコンに繋げます。

2 [www.garminconnect.com](http://www.garminconnect.com)を開きます。

3 新しいコースを作り、存在するコースを選択します。

4 **Send to Device**を選択します。

5 製品を外し、電源を入れます。

6 **Courses**を選択します。

7 コースを選択します。

8 **RIDE**を選択します。

### コースでトレーニングをするヒント

・ **Turn guidance**を使います。(5ページ)

・ ウォーミングアップを含む場合は**▶**を選択し、コースを始め、ウォーミングアップをします。

・ ウォーミングアップではコースから離れます。準備ができたならコース方向に向きます。コース上のどの地点にいても、メッセージが表示されます。

**注意:** **▶**を選択するとウォーミングアップを待たず、すぐにバーチャルパートナーがコースを開始します。

・ コースの地図を見るために地図をスクロールします。コースから外れた場合、メッセージが表示されます。

### 地図上でコースを表示する

製品に保存したコースは、地図上でどのように表示するかカスタマイズすることができます。例えば、通勤コースを地図上で黄色で表示するように設定することができます。代わりにコースを緑で表示することもできます。自転車に乗っている時にコースを見ることはできますが、特定のコースに沿ったりナビゲートすることはできません。

1 **Courses**を選択します。

2 コースを選択します。

3 **Settings**を選択します。

4 **Always Display**を選択して、地図上にコースを表示させます。

5 **Color**を選択し、色を選択します。

6 **Course Points**を選択し、地図にコースポイントを含ませます。

次にコースの近くを走った時、地図上に表示されます。

### コースの詳細を見る

1 **Courses**を選択します。

2 コースを選択します。

### 3 オプションを選択します。

- ・ **Summary**を選択し、コースの詳細を見ます。
- ・ **Map**を選択し、地図上でコースを見ます。
- ・ **Elevation**を選択し、コースの高度を見ます。
- ・ **Laps**を選択し、ラップを選択してそれぞれのラップの情報を見ます。

### コースの速度を変更する

- 1 ホーム画面から**Courses**を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3 **RIDE**を選択します。
- 4 バーチャルパートナーのページにスクロールします。
- 5 **+**や**-**を選択し、コースを完全にする時間の割合を合わせます。  
例えば、20%までコースタイムを向上したければ、コース速度を120%と入力します。バーチャルパートナーとレースし、30分のコースを24分で終わらせます。

### コースを中止する

- 1 地図にスクロールします。
- 2 **⊗** > **✓**を選択します。

### コースを消去する

- 1 ホーム画面から**Courses**を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3 **⊗** > **✓**を選択します。

### コースのオプション

**Courses** > **■**を選択します。

**Turn Guidance:** ガイダンスを有効/無効にします。

**Off Course Warnings:** コースから外れた時に知らせます。

**Search:** 名前で保存したコースを検索します。

**Delete:** 保存した全ての、または複数のコースを製品から消去します。

## Segments (セグメント)

**セグメントに続く:** Garmin Connectのアカウントから製品にセグメントを送信することができます。セグメントを製品に保存するとセグメントに続くことができます。

**注意:** Garmin Connectのアカウントからコースをダウンロードする時、コースのセグメントも全て自動的にダウンロードされます。

**セグメントと競う:** セグメントと競うことができます。ユーザー個人の記録や、他のサイクリストが行ったセグメントと競ったりそれを越えたりします。

### ダウンロードしたセグメントをたどる

Garmin Connectからセグメントをダウンロードし、使う前にGarmin Connectのアカウントを作らなければいけません。  
(9ページ)

- 1 USBケーブルを使って製品をパソコンに繋がめます。
- 2 [www.garminconnect.com](http://www.garminconnect.com)を開きます。
- 3 新しいセグメントを作るか既存のセグメントを選択します。
- 4 **Send to Device**を選択します。
- 5 製品を外し、電源を入れます。
- 6 **Where To? > Saved > Segments**を選択します。
- 7 セグメントを選択します。
- 8 **RIDE**を選択します。

### セグメントを有効にする

セグメントに近づいた時に知らせるバーチャルパートナーとの競争や指示を有効にすることができます。

- 1 **Segments**を選択します。
- 2 セグメントを選択します。

### 3 Enableを選択します。

**注意:** セグメントが近づいている知らせはセグメントが有効になっている時だけ表示されます。

### セグメントと競争する

セグメントは仮想のレースコースです。セグメントで競争することができたり、過去のアクティビティやGarmin Connectのアカウント上やサイクリング仲間など他のライダーと比較することができます。セグメントの位置を確認するためにアクティビティのデータをGarmin Connectのアカウントにアップロードすることができます。

- 1 セグメントか、セグメントを含むコースか、自転車に乗り、始めます。  
有効にしているセグメントを通った時、セグメントと競争することができます。
- 2 **▶**を選択してタイマーをスタートさせます。  
セグメントのスタート地点に近い時、メッセージが表示されます。
- 3 セグメントと競争を始めます。
- 4 必要であれば、**◀**や**▶**を選択し、レース中のゴールを変更します。

グループのリーダーや挑戦者、他のライダーと競争することができます。(データによる)

- 5 バーチャルパートナーの画面にスクロールし、経過を見ます。  
セグメントを完了した時、メッセージが表示されます。

### セグメントの詳細を見る

- 1 **Segments**を選択します。
  - 2 セグメントを選択します。
  - 3 オプションを選択します。
    - ・ **Map**を選択し、地図上でセグメントを見ます。
    - ・ **Elevation**を選択し、セグメントの高度を見ます。
    - ・ **Leaderboard**を選択し、自転車に乗っている時間や平均速度(セグメントリーダーやグループリーダー、チャレンジャーのための)、ユーザーのベストタイム、平均速度、他のライダーを見ます。(適用できれば)
- ヒント:** リーダーボード登録を選択して、セグメントのレース目標を変更することができます。

### セグメントのオプション

**Segments** > **■**を選択します。

**Turn Guidance:** ガイダンスを有効/無効にします。

**Search:** 名前で保存したセグメントを検索することができます。

**Enable/Disable:** 製品に最近入れたセグメントを有効にしたり無効にしたりします。

**Delete:** 製品から保存したセグメントを全て、あるいは複数消去することができます。

### セグメントの消去

- 1 **Segments**を選択します。
- 2 セグメントを選択します。
- 3 **⊗** > **✓**を選択します。


## カレンダー

製品のカレンダーはGarmin Connectで設定したトレーニングカレンダーやスケジュールの拡張機能です。ワークアウトをいくつかGarmin Connectのカレンダーに加えた後、それらを製品に送信することができます。製品に送られた予定している全てのアクティビティがカレンダーに表示されます。カレンダー上で1日選択すると予定しているワークアウト、コース、完了したライドの要約を見ることができ、予定しているアクティビティを始めます。予定しているアクティビティはそれを完了してしようといなかろうと製品にあり続けます。Garmin Connectから予定しているアクティビティを送った時、存在しているカレンダーを上書きしています。


## Garmin Connectのトレーニングプランを使う

Garmin Connectからトレーニングプランをダウンロードする前にGarmin Connectのアカウントを作らなければなりません。  
(9ページ)

トレーニングプランや予定したワークアウトを見つけ、ワークアウトやコースを予定するためにGarmin Connectを見たり、プランを製品にダウンロードすることができます。

- 1 パソコンに製品を繋げます。
- 2 [www.garminconnect.com](http://www.garminconnect.com)を開きます。
- 3 トレーニングプランを選択し、予定します。
- 4 カレンダーでトレーニングプランを確認します。
- 5 を選択し、画面の指示に従います。

### 予定したアクティビティを始める

- 1 ホーム画面から**Calendar**を選択します。  
その日に予定するワークアウトやコースが表示されます。
- 2 必要であれば日を選び、予定するアクティビティを見ます。
- 3 を選択します。
- 4 **RIDE**を選択します。

## 個人の記録

走行を完了すると、製品は走行中に達した個人の新しい記録をいくつか表示します。個人の記録は、走行中の標準距離での最速時間、最長走行、最大上昇を含みます。

### 個人の記録を消去する

- 1 ホーム画面から**History>Personal Records**を選択します。
- 2 個人の記録を選択します。
- 3  > を選択します。

### 個人の記録を復活させる

個人の記録を前もって記録していた1つの記録に戻って設定することができます。

注意:これは保存しているアクティビティを消去できません。

- 1 **History > Personal Records**を選択します。
- 2 復活させる記録を選択します。
- 3 **Previous Record >** を選択します。

## トレーニングゾーン

- ・ 心拍の範囲 (6ページ)
- ・ パワーゾーン (8ページ)

## ANT+ Sensors (ANT+センサー)

製品はANT+センサーと対応しています。オプションのセンサーの適合性や購入についてのより詳細な情報に関しては<http://buy.garmin.com>を参照してください。

### ハートレートモニターをつける

注意:ハートレートモニターをお持ちでない場合は、この項目は省いて下さい。

胸のちょうど下のあたりの肌に直接ハートレートモニターをします。アクティビティ中、ずれないように十分にぴったりと装着します。①

- 1 ストラップにハートレートモニターを取り付けます。



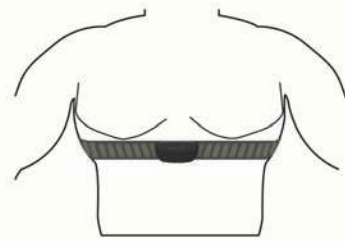
モジュール上のロゴとストラップは表にします。

- 2 ユーザーの胸とトランスミッターの接続部分を強度なものにするためにストラップの後ろにある電極②と接触する布③を濡らします。



- 3 胸の周りをストラップで巻いて、ストラップのフック④と輪っかの部分⑤を繋げます。

注意:取り扱い表示タグは捲り上げないほうが良いです。



ガーミンのロゴは表にあります。

- 4 製品をハートレートモニターの3m以内に持ってきます。  
ハートレートモニターをつけると、動き始め、データを送信します。

ヒント:ハートレートモニターが異常な状態になったり、表示されなくなったらトラブルシューティングのヒントをご覧ください。(6ページ)

### 心拍ゾーンを設定する

製品は心拍ゾーンを決定する最初の設定からユーザーのプロフィール情報を使います。フィットネスの目的によって手動で心拍ゾーンを調節できます。(7ページ)  
アクティビティ中の最も正確なカロリーのために、最大心拍数、休んでいる時の心拍数、心拍ゾーンを設定します。

- 1  > **Training Zones > Heart Rate Zones**を

ホーム画面から選択します。

- 2 最大心拍数と休憩している時の心拍数を入力します。  
ゾーンの値は自動的にアップデートされますが、手動で編集することもできます。
- 3 **Based On:**を選択します。
- 4 オプションを選択します。
  - ・ **BPM**を選択し、1分ごとの心拍数におけるゾーンを見たり、編集します。
  - ・ **% Max**を選択し、最大心拍数の割合としてゾーンを見たり、編集します。
  - ・ **% HRR**を選択し、休憩している時の心拍数の割合としてゾーンを見たり、編集します。

### 心拍ゾーンとは

多くのアスリートが最大酸素摂取量の強度の計測や増強、フィットネスのレベルの向上のために心拍ゾーンを使います。心拍ゾーンとは1分における心拍数の範囲です。一般的に受け入れられている5つの心拍ゾーンは増える強度によって1から5まで番号をつけられます。一般的に、心拍ゾーンは最大心拍数の割合に基いて計算されます。

### 心拍データの異常についてのヒント

心拍データが異常をきたしたり、表示されなかった場合は次のヒントを試してみてください。

- ・ 電極や接地面を再度濡らします。  
(適用できれば)
- ・ 胸の上でストラップをきつく締めます。
- ・ 5~10分温めます。

- ・ 製品の手入れの指示に従います。  
(16ページ)
- ・ コットンシャツを着るか、ストラップの両サイドを濡らします。  
合成繊維のハートレートモニターに対する摩擦は心拍信号の妨げとなる静電気を生み出します。
- ・ ハートレートモニターの妨げになりうるものから離れます。  
妨げになる原因として2.4GHzのワイレスセンサー、高電圧の電力線、電機モーター、オープン、マイクロウェーブオープン、2.4GHzの無線電話、無線LANのポイントを含む電磁気の強い場所があります。

## フィットネス目標

心拍ゾーンを知り、次の原理を理解し適用することによりフィットネスの計測や向上に役立ちます。

- ・ 心拍数は運動の度合いを測るのに適しています。
- ・ 一定の心拍数でトレーニングすることは心血管の容量と強度の向上に役立ちます。
- ・ 心拍数の範囲を知ることは過剰な運動を防止し、怪我のリスクを軽減することに繋がります。

最大心拍数を知れば、表(19ページ)を使ってフィットネスの目的に応じた最良の心拍数を決めることができます。

最大心拍数が分からなければ、インターネット上で入手できる計算表を使用します。いくつかのジムや保健所では最大心拍数を測るテストを提供しています。  
最大心拍数の標準値は220から年齢を引いた値です。

## スピードセンサーを取り付ける

**注意:** センサーをお持ちでない場合はこの項目は省いて下さい。

**ヒント:** ガーミン社はセンサーを取り付けている間、自転車を安全に立てておくことをすすめています。

- 1 車輪ハブの1番上にスピードセンサーを置き、固定します。
- 2 車輪ハブの周りにあるストラップ①を引き、センサーのフック②に取り付けます。



非対称のハブに取り付けた時、センサーが傾くかもしれません。これは操作に影響ありません。

- 3 隙間を確認するために車輪を回転させます。  
センサーは自転車の他のパーツに触れない方が良いでしょう。  
**注意:** 2回転の後、アクティビティを示すために5秒間LEDが緑に光ります。

## ケイデンスセンサーを取り付ける

**注意:** センサーをお持ちでない場合はこの項目は省いて下さい。

**ヒント:** ガーミン社はセンサーを取り付けている間、自転車を安全に立てておくことをすすめています。

- 1 クランクアーム①にしっかり合うバンドサイズを選びます。  
選んだバンドはクランクアームに渡って伸びる1番小さいものが良いでしょう。

- 2 クランクアームの内側にケイデンスセンサーの平な面を置き、保ちます。
- 3 クランクアームの周りでバンド②を引き、センサーのフック③に取り付けます。



- 4 隙間を確認するためにクランクアームを回転させます。  
センサーとバンドは自転車や靴のどの部分にも接触しない方が良いでしょう。  
**注意:** 2回転の後、アクティビティを示すために5秒間LEDが緑に光ります。
- 5 15分間テスト走行し、ダメージが無いかセンサーとバンドを調べます。

## スピードセンサーとケイデンスセンサーとは

ケイデンスセンサーからのケイデンスデータはいつも記録されています。スピードセンサーとケイデンスセンサーが製品とペアリングされていなければGPSデータで速度と距離を計算します。

ケイデンスは1分ごとのクランクアームの回転数によって計測されたペダルを踏んだ回数や回転数の割合です。

## ケイデンスやパワーのデータ平均

オプションのケイデンスセンサーやパワーメーターでトレーニングしていたらゼロを含まないデータ平均設定は利用できます。初期設定がゼロの値を除外していてもペダルを踏んでいない時でも計測されます。

この設定の値を変えることができます。  
(15ページ)

## ANT+センサーをペアリングする

ペアリングをする前に、ハートレートモニターをつけるかセンサーを取り付けます。

ペアリングはANT+センサーの連携です。例えば、ガーミン製品とハートレートモニターを連携します。

- 1 製品をセンサーの3m以内に持ってきます。  
**注意:** ペアリングをしている間は他のライダーのANT+センサーから10m離れてください。
- 2 **Sensors > Add Sensor**を選択します。
- 3 オプションを選択します。
  - ・ センサーの種類を選択します。
  - ・ **Search All**を選択し、全ての近くのセンサーを検索します。利用できるセンサーのリストが表示されます。
- 4 製品とペアリングする1つかそれ以上のセンサーを選択します。
- 5 **Add**を選択します。  
センサーが製品とペアリングされている時、センサーの状態は**Connected**になっています。センサーデータを表示するデータ欄をカスタマイズすることができます。

## パワーメーターでトレーニングする

- ・ 製品と互換性のあるANT+センサー(Vectorのような)のリストは[www.garmin.com/intosports](http://www.garmin.com/intosports) で開きます。
- ・ より詳細な情報に関してはパワーメーターのオーナーマニュアルを参照してください。
- ・ パワーゾーンを目的と能力に合わせて調節します。  
(8ページ)

- ・ 特定したパワーゾーンに達した時に知らせるために範囲アラートを使います。 (3ページ)
- ・ パワーデータ欄をカスタマイズします。 (14ページ)

## パワーゾーンを設定する

ゾーンの値は初期設定の値とユーザー個人の能力とが合っていないかもしれません。製品上かGarmin Connectを使って手でゾーンを調節することができます。機能的閾パワー(FTP)の値を知っていれば、それを入力するとソフトウェアが自動的にパワーゾーンを計算できるようにすることができます。

- 1 **Training Zones > Power Zones**を選択します。
- 2 FTPの値を入力します。
- 3 **Based On:**を選択します。
- 4 オプションを選択します。
  - ・ **watts**を選択し、ワットでゾーンを確認し、編集します。
  - ・ **% FTP**を選択し、機能的閾パワーのパーセンテージとしてゾーンを確認し、編集します。

## パワーメーターを校正する

パワーメーターを校正する前に、適切に取り付けられ、製品とペアリングされ、積極的にデータを記録しなければいけません。パワーメーターの固有の校正手順については製造元の説明書を参照してください。

- 1 ホーム画面からステータスバーを選択するか、ページの上から下へスワイプします。
- 2 **Calibrate**を選択します。
- 3 メッセージが表示されるまでペダルをこいでパワーメーターがアクティブな状態を保ちます。
- 4 画面の指示に従います。

## ペダルの基本的な力

Vectorはペダルの基本的な力を測定します。

Vectorは毎秒何百回もユーザーが加えている力を計測しています。Vectorはケイデンスまたは回転のペダル速度も計測しています。力や力の方向、クランクアームの回転や時間を計測することによりVectorはパワー (watts) を決めることができます。なぜならVectorは自分自身で左右の足の力を計測し、左右のパワーバランスを伝えるからです。

**注意:** Vector Sシステムは左右のパワーバランスは供給しません。

## サイクリングダイナミクス

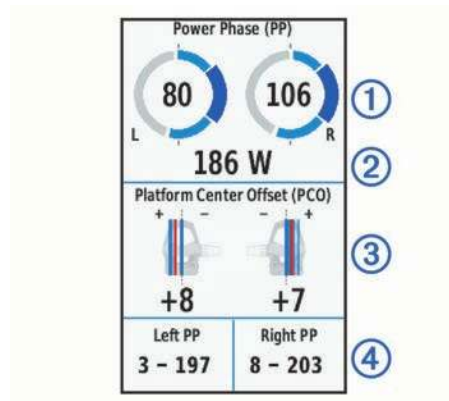
サイクリングダイナミクスの測定はペダルのストロークを通してどれだけ力を加えているか、ペダルのどこに力を加えているかを測り、走行の特殊な方法を理解することができます。どこでどのくらい力を生み出しているかを理解するとより効率良くトレーニングでき、自転車に合っているか評価できます。

## サイクリングダイナミクスを使う

サイクリングダイナミクスを使う前に、製品とVectorのパワーメーターをペアリングしなければいけません。 (7ページ)

**注意:** サイクリングダイナミクスの記録はさらに製品のメモリーを使います。

- 1 自転車に乗ります。
- 2 サイクリングダイナミクス画面にスクロールし、トータルパワーフェーズ①、トータルパワーフェーズ②、プラットフォームセンターオフセット③を見ます。



- 3 必要であれば、データ部分④を長押しし、変更します。 (14ページ)

**注意:** 画面下の2つのデータ部分をカスタマイズすることができます。

さらなるサイクリングダイナミクスデータを見るためにGarmin Connectのアカウントに走行を送ることができます。 (9ページ)

## Power Phase Data (パワーフェーズデータ)

パワーフェーズはユーザーが生み出した積極的なパワーのペダルのストロークの範囲 (最初のクランクの角度と最後のクランクの角度の間) です。

## Platform Center Offset (プラットフォームセンターオフセット)

プラットフォームセンターオフセットは平らなペダル上のどこにユーザーが力を加えているかの位置です。

## Vectorの特徴をカスタマイズする

Vectorの特徴をカスタマイズする前に、製品とVectorのパワーメーターをペアリングしなければいけません。

- 1 **Sensors**を選択します。
- 2 Vectorパワーメーターを選択します。
- 3 **Sensor Details > Vector Features**を選択します。
- 4 オプションを選択します。
- 5 必要であれば、トグルスイッチを選択してトルク効率やペダル平滑度、サイクリングダイナミクスをON/OFFします。

## Edge 1000を使いVectorソフトウェアをアップデートする

ソフトウェアをアップデートする前に、VectorシステムにEdge 1000をペアリングしなければいけません。

- 1 USBかWi-Fi接続を使い、Garmin Connectに走行データを送信します。  
Garmin Connectは自動的にソフトウェアのアップデートを検索し、Edge製品に送信します。
- 2 Edge製品をセンサーの3m以内に持ってきます。
- 3 クランクアームを数回、回転させます。  
Edge製品は他の保留中のソフトウェアアップデートもインストールするように促します。
- 4 画面上の指示に従います。

## ShimanoのDi2シフターを使う

シマノのDi2電動シフターを使う前に、製品とペアリングしなければいけません。 (7ページ) オプションのDi2データ部分をカスタマイズすることができます。 (14ページ)

センサーが調整モードの時、Edge製品は現在調節した値を表示します。

## ウェイトスケール (体重計) を使う

体重計と互換性のあるANT+センサーを持っていれば製品は体重計からデータを読み込むことができます。

- 1 **Sensors > Add Sensor > Weight Scale**を選択します。  
体重計が見つかったらメッセージが表示されます。

- 示されたら体重計の上に立ちます。  
**注意:** 体組成計を使っていたら、靴や靴下を脱ぎ、全ての体の構成要素が確実に読み込まれ、記録されるようにします。
- 示されたら体重計からおります。  
**ヒント:** エラーが生じたら、体重計からおります。示されたら乗ります。

## 状況確認

Edge製品は状況確認の向上のためにVariaのスマートバイクライトとリアビューレーダーを使うことができます。Varia製品のより詳細な情報はそのマニュアルを見てください。

**注意:** Variaとペアリングをする前にEdge製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。(17ページ)

## History (履歴)

履歴は時間、距離、カロリー、速度、ラップデータ、高度、オプションのANT+センサーの情報を含んでいます。


**注意:** タイマーが停止や中断している間、履歴は記録されません。

製品のメモリーがいっぱいの時、メッセージが表示されます。製品は自動的に履歴を消去、上書きしません。全ての走行データのトラックを保持するために、履歴を定期的にGarmin Connectにアップロードしてください。

### 走行を見る

- ホーム画面から**History > Rides**を選択します。
- オプションを選択します。

### 走行を消去する

- ホーム画面から**History > Rides**を選択します。
- 走行を選択します。
-  >  を選択します。

### データ合計を見る

走行回数、時間、距離、カロリーを含むEdgeに保存した蓄積されたデータを見ることができます。

ホーム画面から**History > Totals**を選択します。

## Garmin Connectに走行を送信する

### 注意

製品の腐食を防ぐために、充電やパソコンに繋ぐ前にUSBポートや保護キャップ、その周辺を完全に乾かします。

- 保護キャップ①をUSBポート②から外します。



- 製品のUSBポートにUSBケーブルの端の小さい部分を差し込みます。
- パソコンのUSBポートにUSBケーブルの端の大きい部分を差し込みます。
- [www.garminconnect.com/start](http://www.garminconnect.com/start)を開きます。
- 画面の指示に従います。

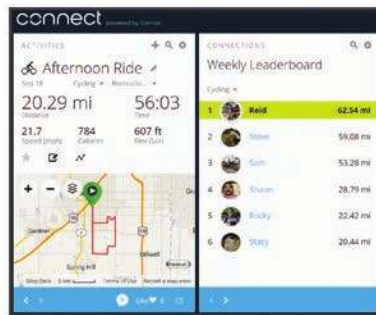
## Garmin Connect (ガーミンコネクト)

Garmin Connect上で友達と繋がるができます。Garmin Connectでは互いに追跡、分析、シェアをしたり、計画することができます。ラン、ウォーク、ライド、水泳、ハイキング、トライアスロンなどのアクティブなライフスタイルを記録します。フリーアカウントに登録するには[www.garminconnect.com/start](http://www.garminconnect.com/start)を参照してください。

**アクティビティを保管する:** 製品にアクティビティを完了し保存した後、Garmin Connectにそのアクティビティをアップロードし、それが必要な間ずっと保管することができます。

**データを分析する:** 時間、距離、高度、心拍数、消費カロリー、ケイデンス、上から見た地図、ペースと速度の表、カスタマイズできるレポートを含むアクティビティのより詳細な情報を見ることができます。

**注意:** いくつかのデータはハートレートモニターのようなオプションのアクセサリを必要とします。



**トレーニングの計画をたてる:** フィットネス目標を選んだり、日々のトレーニングプランの1つを読みこませることができます。

**アクティビティをシェアする:** ユーザーが好きなSNS上で友達と繋がり、互いのアクティビティに続いたり、アクティビティにリンクを貼ることができます。

### Bluetooth接続機能

Edge製品は互換性のあるスマートフォンやフィットネス製品に関するBluetooth機能があります。スマートフォンにGarmin Connectモバイルをインストールする必要があるものもあります。詳細な情報は[www.garmin.com/intosports/apps](http://www.garmin.com/intosports/apps)を開いてください。

**注意:** 製品は機能を有利に得るためにBluetoothを有効にしているスマートフォンに繋がなければいけません。

**Live Track (ライブトラック):** 友達や家族がリアルタイムにユーザーのレースやトレーニングを見ることができます。メールやソーシャルメディアを使って招待し、Garmin ConnectのトラックページでユーザーのLiveデータを見ることができます。

### Garmin Connectにアクティビティをアップロードする

アクティビティの記録が終わり次第すぐにGarmin Connectに自動的にそのアクティビティを送信します。

**Garmin Connectからコースやワークアウトをダウンロードする**  
スマートフォンを使ってGarmin Connect上でアクティビティを検索し、製品に送信することができます。


**製品から製品への移行:** 無線でファイルを他の互換性のあるEdge製品に移すことができます。

**ソーシャルメディアの相互作用:** アクティビティをGarmin Connectにアップロードした時、好きなソーシャルメディアのサイト上にアップデートしたものを公表することができます。

**天気情報:** リアルタイムの天気の状態を送信し、製品に送信します。

**通知:** 電話の通知やメッセージを製品に表示します。

### スマートフォンとペアリングする

- [www.garmin.com/intosports/apps](http://www.garmin.com/intosports/apps)を開き、スマートフォンにGarmin Connect Mobileのアプリをダウンロードします。
- 製品の10m以内にスマートフォンを持ってきます。
- 製品から  > **Bluetooth > Enable > Pair Smartphone** を選択し、画面の指示に従います。

- スマートフォンからGarmin Connect Mobileのアプリを開き、製品に繋ぐため画面の指示に従います。

指示は初期設定の間に供給されるか、Garmin Connect Mobileアプリのヘルプで見つけることができます。

- 製品からPair Bluetooth Smartを選択し、互換性のあるスマートフォンでの電話通知を可能にするために画面の指示に従います。(オプション)

**注意:** 電話通知はBluetoothのスマートワイヤレステクノロジーを備える必要があります。

適合性のある情報は[www.garmin.com/ble](http://www.garmin.com/ble)を開いてください。

## Wi-Fi接続機能

Edge製品はWi-Fi接続機能があります。Garmin Connect MobileのアプリケーションはWi-Fi接続の使用を必要としません。

**注意:** 製品は次の機能を有利に得るために無線のネットワークに繋がなければいけません。

- Garmin Connectにアクティビティをアップロードする  
記録が終わると自動的にGarmin Connectにアクティビティを送信します。

### コースとワークアウトとトレーニングプラン

Garmin Connectから前もって選択したアクティビティを無線で製品に送信します。

**ソフトウェアのアップデート:** 製品は最新のソフトウェアのアップデートを無線でダウンロードします。次回、製品をつけると画面の指示に従いアップデートすることができます。

## Wi-Fi接続を設定する

- [www.garminconnect.com/start](http://www.garminconnect.com/start)を開き、Garmin Expressのアプリをダウンロードします。
- Garmin ExpressとのWi-Fi接続を設定するために画面の指示に従います。

## 無線のネットワークに接続する

- ☰ > Wi-Fiを選択します。
- 必要であれば、無線機能をつけるためにWi-Fiを選択します。
- Add Networkを選択し、利用できるネットワークを調べます。
- 無線のネットワークを選択
- 必要であれば、+を選択し、ネットワーク名とパスワードを入力します。

この場所に戻ってきた時、製品はネットワーク情報を保存しており、自動的に繋がります。

## 他のEdge製品にファイルを移行する

互換性のあるEdge製品からBluetooth機能を使っている他の製品にコース、セグメント、ワークアウトを無線で移行することができます。

- 両方のEdge製品の電源をつけ、互いに3m以内へ持ってきます。
- ファイルを含んでいる製品から、☰ > Device Transfers > Share Files > ✓を選択します。
- シェアするファイルのタイプを選択します。
- 移行する1つかそれ以上のファイルを選択し、✓を選択します。
- ファイルを受け取る製品から、☰ > Device Transfersを選択します。
- 近くの接続を選択します。
- 受け取るファイルを1つかそれ以上選択し、✓を選択します。

ファイルの移行が完了したら両方の製品にメッセージが表示されます。

## データの記録

製品はスマートな記録を使います。方向や速度、心拍数を変更したキーポイントで記録します。

パワーメーターがペアリングされている時、製品は毎秒ポイントを記録しています。毎秒のポイントの記録はきわめて詳細なトラックを供給し、利用できるメモリーの多くを使います。

ケイデンスとパワーのデータ平均についての情報は、[7ページ](#)をご覧ください。

## データ保持の場所を変更する

- ホーム画面から☰ > System > Data Recording > Record Toを選択します。
- オプションを選択します。
  - Internal Storageを選択し、製品のメモリーにデータを保存します。
  - Memory Cardを選択し、オプションのメモリーカードにデータを保存します。

## メモリーカードを取り付ける

さらなる保持や事前の地図読み込みのためにmicroSDメモリーカードを取り付けます。

- microSDカードの差込口②から保護キャップ①を外します。



- カチッという音がするまでカードを差し込みます。

## データ管理

**注意:** 製品はWindows 95, 98, Me, Windows NT, Mac OS10.3とそれより前のものには対応していません。

## 製品をパソコンに繋げる

### 注意

製品の腐食を防ぐために、充電やパソコンに繋げる前、USBポートや保護キャップ、その周りを十分に乾かします。

- USBポートから保護キャップを外します。
- 製品のUSBポートにUSBケーブルの端の小さな部分を差し込みます。
- パソコンのUSBポートにUSBケーブルの端の大きな部分を差し込みます。

製品とメモリーカード(オプション)はWindowsのパソコンではMy Computerにリムーバブルドライブとして、Macのパソコンではボリュームとして表示されます。

## 製品にファイルを移行する

- パソコンに製品を繋がります。

Windowsのパソコンでは製品はリムーバブルドライブかポータブルデバイスとして表示され、メモリーカードは2番目のリムーバブルドライブとして表示されます。Macのパソコンでは製品とメモリーカードがボリュームとして表示されます。

**注意:** 多くのネットワークドライブを持つあるパソコンは製品のドライブが適切に表示されないかもしれません。ドライブの位置付け方を学ぶためオペレーティングシステムの記述を見ます。
- パソコン上でファイルブラウザを開きます。
- ファイルを選択します。
- Edit > Copyを選択します。
- ポータブルデバイス、ドライブ、デバイスやメモリーカードのボリュームを開きます。
- フォルダを見ます。
- Edit > Pasteを選択します。

ファイルは製品のメモリーやメモリーカードにあるファイルのリストに表示されます。

## ファイルを消去する

### 注意

ファイルの目的を知らない場合は消去してはいけません。製品のメモリーは消してはいけない重要なシステムファイルを含んでいます。

- 1 Garminのドライブまたはボリュームを開きます。
- 2 必要であれば、フォルダやドライブを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 キーボード上で**Delete**を押します。

### USBケーブルを外す

製品がリムーバブルドライブやボリュームとしてパソコンに接続していたら、データの消失を避けるためにパソコンから安全に外さなければいけません。製品がポータブルデバイスとしてWindowsのパソコンに繋がれている場合は安全に外す必要はありません。

- 1 処置を完了する
  - ・ Windowsのパソコンではシステムトレイにある**Safely Remove Hardware**のアイコンを選び製品を選択します。
  - ・ Macではボリュームアイコンをゴミ箱へドラッグします。
- 2 パソコンからケーブルを外します。

## Navigation (ナビゲーション)

ナビゲーション機能と設定はコースのナビゲート (4ページ) やセグメント (5ページ) に適応しています。

- ・ 位置を探す (11ページ)
- ・ ルートの計画をする (12ページ)
- ・ ルートの設定 (12ページ)
- ・ オプションの地図 (13ページ)
- ・ 地図の設定 (12ページ)

### 位置

製品に位置を記録し、保存します。

#### ユーザーの位置を保存する

家や、駐輪場などの現在位置を保存することができます。

- 1 ホーム画面からステータスバーを選択するか、ページの上から下へスワイプします。  
接続ページが表示されます。
- 2 **GPS > Mark Location > ✓**を選択します。

#### 地図から位置を保存する

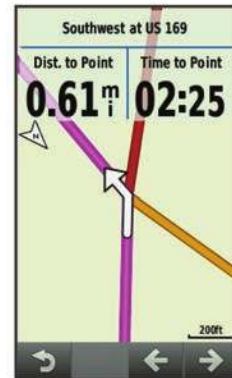
- 1 ホーム画面から**Where To? > ● > A Map Point**を選択します。
- 2 地図に位置を確認します。
- 3 位置を選択します。  
地図の上部に位置情報が表示されます。
- 4 位置情報を選択します。
- 5 **▶>✓**を選択します。

#### 位置をナビゲートする

- 1 ホーム画面から**Where To?**を選択します。
- 2 オプションを選択します。
  - ・ **Saved**を選択し、保存したコースや位置、セグメントへナビゲートします。
  - ・ **Recent Finds**を選択し、ユーザーが見つけた最新の50箇所のうち1箇所へナビゲートします。
  - ・ **Search Tools**を選択し、POIや明確な住所(ルーティングな地図を必要とする)、町、交差点、知っている座標へナビゲートします。

●を選択し、検索エリアを狭くします。

- 3 もし必要であれば、□を選択し、明確な検索情報を入力します。
- 4 位置を選択します。
- 5 **RIDE**を選択します。
- 6 目的地まで画面の指示に従います。



#### 知っている座標へナビゲートする

- 1 ホーム画面から、**Where To? > Search Tools > Coordinates**を選択します。
- 2 座標を入力し、**✓**を選択します。
- 3 目的地まで画面の指示に従います。

#### 始めに戻るナビゲートをする

走行中どこにいてもスタート地点へ戻ることができます。

- 1 自転車に乗ります。 (3ページ)
- 2 走行中、画面のどこでもいいので選択してタイマーを見ます。
- 3 **↑ > Where To? > Back to Start**を選択します。
- 4 **Along Same Route**か**Most Direct Route**を選択します。
- 5 **RIDE**を選択します。  
製品は走行のスタート地点までナビゲートします。

#### ナビゲーションを停止する

- 1 画面のどこでもいいので選択し、タイマーを見ます。
- 2 地図へスクロールします。
- 3 **⊗>✓**を選択します。

#### 位置を見積もる



マークがある位置から新しい位置への距離と方角を見積もることによって新しい位置を作ることができます。

- 1 ホーム画面から**Where To? > Saved > Locations**を選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 画面上部の位置情報を選択します。
- 4 **✍ > Project Location**を選択します。
- 5 見積もった位置への方角と距離を入力します。
- 6 **✓**を選択します。

#### 位置を編集する

- 1 ホーム画面から**Where To? > Saved > Locations**を選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 画面上部の情報バーを選択します。
- 4 **✍**を選択します。
- 5 特性を選択します。  
例えば、**Change Elevation**を選択すると知っている位置の高度を入力します。
- 6 新しい情報を入力し、**✓**を選択します。

## 位置を消去する

- 1 ホーム画面から**Where To? > Saved > Locations**を選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 画面上部の位置情報を選択します。
- 4  > **Delete Location** > を選択します。

## ルートの計画を立て走行する

カスタムルートを作り、走行することができます。ルートはウェイポイントや最終目的地までの位置を繋いだものです。

- 1 ホーム画面から、**Where To? > Route Planner > Add First Location**を選択します。
- 2 オプションを選択します。
  - ・ 地図上の現在位置を選択するためには**Current Location**を選択します。
  - ・ 保存した位置を選択するためには**Saved**を選択し、位置、コース、セグメントを選択します。
  - ・ 最近検索した位置を選択するためには**Recent Finds**を選択し、位置を選択します。
  - ・ 地図上の位置を検索するためには**Use Map**を選択し、位置を選択します。
  - ・ POIを見て選択するためには**POI Categories**を選択し、近くのPOIを選択します。
  - ・ 市を選択するには**Cities**を選択し近くの市を選択します。
  - ・ 住所を選択するためには**Address**を選択し、住所を入力します。
  - ・ 交差点を選択するためには**Intersections**を選択し、道路の名称を入力します。
  - ・ 座標を使うためには**Coordinates**を選択し、座標を入力します。
- 3 **Use**を選択します。
- 4 **Add Next Location**を選択します。
- 5 ルートの全ての位置を選択するまで**2-4**を繰り返します。

### 6 View Route

製品はルート进行計算し、ルートの地図が表示されます。

ヒント:ルートの高度グラフを見るために  を選べます。


### 7 RIDE



## ラウンドトリップルートを作る

製品は明確な距離とスタート位置に基いてラウンドトリップルートを作ることができます。


- 1 ホーム画面から**Where To? > Round-Trip Routing**を選択します。
- 2 **Distance**を選択し、ルートの合計距離を入力します。
- 3 **Start Location**を選択します。
- 4 オプションを選択します。
  - ・ **Current Location**を選択します。

注意: 製品がユーザーの現在位置を決めるのに衛星信号を取得できなければ、最後に取得した位置を使わせるか地図上で位置を選択させようとしています。
  - ・ **Use Map**を選択し、地図上の位置を選択します。
- 5 **Search**を選択します。

ヒント:  を選択し、もう一度検索します。
- 6 地図上で見るルートを選択します。

ヒント: 他のルートを見るには  や  を選択します。
- 7 **RIDE**を選択します。

## ルート設定

 > **Activity Profiles**を選択し、プロフィールを選択し、**Navigation > Routing**を選択します。

**Routing Mode:** ルートを計算する製品のためにアクティビティを選択することができます。  
(12ページ)

**Calculation Method:** ルートを能率的に利用するために計算方法を選択することができます。


**Lock on Road (ルーティング可能な地図を要する):** 地図上でユーザーの位置を表している位置アイコンを近くの道に固定します。

**Avoidance Setup (ルーティング可能な地図を要する):** 避けたい道路の種類を選択することができます。

**Recalculation (ルーティング可能な地図を要する):** ルートから外れた時、方法を再計算することができます。


## ルート計算のためのアクティビティを選択する

製品はアクティビティの種類に基いてルートの計算を設定することができます。

- 1 ホーム画面から  > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Navigation > Routing > Routing Mode**を選択します。
- 4 ルートを計算するオプションを選択します。

例えば、**Tour Cycling**では道路上のナビゲーションを、**Mountain Biking**では道路外のナビゲーションを選択することができます。

## 地図設定

 > **Activity Profiles**を選択し、プロフィールを選択し、**Navigation > Map**を選択します。

**Orientation:** ページ上で地図の表示のされ方を設定します。


**Auto Zoom:** 地図のズーム度合いを自動的に選択します。  
Offが選択されている時は手動でズームイン、アウトをします。

**Guide Text:** ターンバイターンナビゲーションが表示されている時設定します。(ルーティング可能な地図を要する)

**Map Visibility:** 高度な地図の特徴を設定することができます。

**Map Information:** 製品に入っている地図を有効にしたり無効にしたりすることができます。

## 地図方位を変更する

- 1  > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Navigation > Map > Orientation**を選択します。
- 4 オプションを選択します。
  - ・ **North Up**を選択し、ページ上部に北を表示します。
  - ・ **Track Up**を選択し、ページ上部にユーザーの現在の方向を表示します。
  - ・ **3D Mode**を選択し、3Dで地図を表示します。

## 高度な地図設定

 **Activity Profiles**を選択し、プロフィールを選択し、**Navigation > Map > Map Visibility**を選択します。

**Map Visibility Mode:** AutoとHigh Contrastは値をあらかじめ調節しています。Customを選択し、それぞれの値を設定できます。

**Zoom Levels:** 選択したズームレベルの下に表示する地図項目を設定します。

**Text Size:** 地図項目の文字のサイズを設定します。

**Detail:** 地図上に表示される詳細度を設定します。  
より詳細な表示にする場合は地図の表示が遅くなります。

**Shaded Relief:** 地図上に詳細な起伏を表示するか (利用できれば) 陰影を消します。

## 追加の地図を購入する

追加の地図を購入する前に、製品に読み込まれた地図のバージョンを決定します。

- 1 ホーム画面から **✖** > **Activity Profiles** を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Navigation > Map > Map Information** を選択します。
- 4 地図を選択します。
- 5 **!** を選択します。
- 6 <http://buy.garmin.com> を開くか弊社まで問い合わせして下さい。

## 住所を見つける

事前に読み込んだ Garmin Cycle Map (利用できれば) やオプションの City Navigator を使って住所や市、他の位置を検索することができます。詳細でルーティング可能な地図はレストランやホテル、オートサービスなどの POI を何百万と含んでいます。

- 1 ホーム画面から、**Where To? > Search Tools > Addresses** を選択します。
- 2 画面の指示に従います。  
ヒント: 市の確信がなければ、**Search All** を選択します。
- 3 住所を選択し、**RIDE** を選択します。

## POIを見つける

- 1 ホーム画面から、**Where To? > Search Tools > POI Categories** を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。  
ヒント: 用事の名前が分からなければ、**All POIs > □** を選択し、名前を入力します。
- 3 必要であれば、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択し、**RIDE** を選択します。

## 近くの位置を見つける

- 1 ホーム画面から、**Where To? > ●** を選択します。
- 2 オプションを選択します。  
例えば、**A Recent Find** を選択し、最近検索した住所の近くのレストランを検索します。
- 3 必要であれば、カテゴリーとサブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択し、**RIDE** を選択します。

## 地形図

製品は地形図を含んでいるか、それらを <http://buy.garmin.com> から購入できます。Garmin は地形図を使ってルートやアクティビティの計画を立てるために BaceCamp をダウンロードすることをすすめています。

## 製品をカスタマイズする

### プロフィール

製品はプロフィールを含む製品のカスタマイズの方法がいくつかあります。プロフィールはユーザーの使い方に基いて製品を能率的に利用するための設定のコレクションです。例えば、トレーニングとマウンテンバイクのために異なる設定と見方を作ることができます。

プロフィールを使ったり、データ項目や測定単位のような設定を変更する時、変更したものは自動的にプロフィールの一部として保存されます。

**Activity Profiles (アクティビティプロフィール)**: 走行のそれぞれの種類のためにアクティビティプロフィールを作ることができます。例えば、トレーニング、レース、マウンテンバイクによって別のアクティビティプロフィールを作ることができます。アクティビティプロフィールはカスタマイズされたデータページ、アクティビティの合計、アラート、トレーニングゾーン (心拍、速度など)、ナビゲーション設定を含んでいます。

**User Profile (ユーザープロフィール)**: 性別、年齢、体重、身長、ライフタイムアスリート設定をアップデートすることができます。製品は正確な走行データの計算にこの情報を使います。

### アクティビティプロフィールをアップデートする

10個のアクティビティプロフィールをカスタマイズできます。特別なアクティビティや旅の設定やデータ項目をカスタマイズできます。

- 1 ホーム画面から、**✖** > **Activity Profiles** を選択します。
- 2 オプションを選択します。
  - ・プロフィールを選択します。
  - ・ **+** を選択し、新しいプロフィールを加えます。
- 3 必要であれば、プロフィールの名前と色を編集します。
- 4 オプションを選択します。
  - ・ **Data Screens** を選択し、データページとデータ項目をカスタマイズします。 (14ページ)
  - ・ **Alerts** を選択し、トレーニングアラートをカスタマイズします。 (3ページ)
  - ・ **Navigation** を選択し、地図 (12ページ) やルート (12ページ) をカスタマイズします。
  - ・ **Auto Features > Auto Lap** を選択し、ラップのきっかけを設定します。 (14ページ)
  - ・ **Auto Features > Auto Pause** を選択し、タイマーが自動的に止まる時を変更します。 (14ページ)
  - ・ **Auto Features > Auto Sleep** を選択すると停止5分後、自動的にスリープモードに入ります。 (17ページ)
  - ・ **Auto Features > Auto Scroll** を選択し、タイマーが作動している時のトレーニングデータページの表示をカスタマイズします。 (14ページ)
  - ・ **Start Notice** を選択し、通知開始モードをカスタマイズします。 (14ページ)全ての変更はアクティビティプロフィールに保存されます。

### ユーザープロフィールを設定する

性別、年齢、体重、身長、ライフタイムアスリート設定をアップデートすることができます。製品は正確な走行データを計算するためにこの情報を使います。

- 1 ホーム画面から **✖** > **User Profile** を選択します。
- 2 オプションを選択します。

### ライフタイムアスリートとは

ライフタイムアスリートとはささいな怪我を除いて何年も一心にトレーニングをしていたり、休んでいても一分ごとに60回かそれ以下の心拍数を持っている人のことです。

## Bluetooth設定

**✖** > **Bluetooth** を選択します。

**Enable: Bluetooth** の無線機能を有効にします。

**注意:** Bluetooth の無線機能を有効にしている時は他の Bluetooth 設定が表示されます。

**Friendly Name: Bluetooth** 無線と製品を確認する時、名前を入力することができます。

**Pair Smartphone:** 製品と Bluetooth を有効にしているスマートフォンを繋ぎます。この設定はライブトラックやアクティビティを Garmin Connect へのアップロードを含む特徴と繋がっている Bluetooth を使うことができます。

**Pair Bluetooth Smart:** 製品と Bluetooth のスマート無線機能を使っている互換性のあるスマートフォンを繋ぎます。この設定はコール、テキスト機能を使うことができます。

**注意:** この設定は製品が Bluetooth のスマート無線機能を備え付けた互換性のあるスマートフォンとペアリングされた後に表示されます。

**Call and Text Alerts:** 互換性のあるスマートフォンから電話通知を可能にします。

**Missed Calls and Texts:** 互換性のあるスマートフォンから見逃した電話通知を表示します。

## Wi-Fi設定

✱ > Wi-Fiを選択します。

**Wi-Fi:** Wi-Fiの無線機能を可能にします。

**注意:** Wi-Fiが有効になっている時、他のWi-Fi設定が表示されます。

**Auto Upload:** 使用可能な無線ネットワーク上で自動的にアクティビティをアップロードできます。

**Add Network:** 製品を無線ネットワークに接続します。

## トレーニング設定について

次のオプションや設定はトレーニングのニーズに基づいて製品をカスタマイズすることができます。これらの設定はアクティビティプロフィールに保存できます。例えば、時間アラートをレースプロフィールに設定し、マウンテンバイクプロフィールに自動ラップ位置を設定することができます。

### データ画面をカスタマイズする

アクティビティプロフィールのデータ画面をカスタマイズします。

- 1 ✱ > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Data Screens**を選択します。
- 4 データ画面を選択します。
- 5 必要であれば、データ画面を有効にします。
- 6 画面上に表示されるようにデータ項目の番号を選択します。
- 7 ✓を選択します。
- 8 データ項目を選択し、変更します。
- 9 ✓を選択します。

### オートポーズを使う

ユーザーが動くのを止めたり、速度が特定の値を下回った時自動でタイマーが止まるオートポーズ機能を使うことができます。この機能は走行が停止信号を含む場合や、徐行や停止が必要な場所を含む場合に役立ちます。





**注意:** 履歴はタイマーが停止したり休止している間は記録されません。

- 1 ホーム画面から ✱ > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Auto Features > Auto Pause**を選択します。
- 4 オプションを選択します。
  - ・ **When Stopped**を選択するとユーザーが停止した時タイマーが自動的に止まります。
  - ・ **Custom Speed**を選択すると速度が特定した値を下回った時、タイマーが自動的に止まります。
- 5 必要ならオプションの時間データ項目をカスタマイズします。  
(14ページ)  
The Time – 経過したデータ項目は停止時間も含めた全体の時間を表示します。

### 位置によってラップをつける

特定の位置で自動的にラップをつける自動ラップ機能を使うことができます。この機能はユーザーのパフォーマンスを走行の異なる部分上（例えば、長い登山か短距離走のトレーニング）で役立ちます。コース中は、コース上に保存されたラップ位置の全てにきっかけとなるラップのオプションを使うことができます。

- 1 ホーム画面から ✱ > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Auto Features > Auto Lap > Auto Lap Trigger > By Position > Lap At**を選択します。

- 4 オプションを選択します。
  - ・ **Lap Press Only**を選択すると  を選択するたび、それらの位置をまた通るたびにラップカウンターが作動します。
  - ・ **Start and Lap**を選択すると  を選択したGPS位置と走行中  を選択したどの位置でもラップカウンターが作動します。
  - ・ **Mark and Lap**を選択すると走行前にマークした明確なGPS位置と走行中  を選択したどの位置でもラップカウンターが作動します。
- 5 必要であれば、ラップデータ項目をカスタマイズします。  
(14ページ)

### 距離によってラップをつける

特定の距離で自動的にラップをつける自動ラップを使うことができます。この機能は走行の異なる部分（例えば、10マイルや40km）上でパフォーマンスを比較するのに役立ちます。

- 1 ホーム画面から ✱ > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Auto Features > Auto Lap > Auto Lap Trigger > By Distance > Lap At**を選択します。
- 4 値を入力します。
- 5 必要であれば、ラップデータ項目をカスタマイズします。  
(14ページ)

### 自動スクロールを使う

タイマーの作動中、自動的に全てのトレーニングデータページをスクロールさせる自動スクロール機能を使うことができます。

- 1 ホーム画面から ✱ > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Auto Features > Auto Scroll**を選択します。
- 4 表示速度を選択します。

### スタート案内を変更する

この機能は製品が衛星を取得し、動いている時自動的に感知します。タイマーのスタートを知らせるものなので、走行データを記録することができます。

- 1 ホーム画面から ✱ > **Activity Profiles**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Start Notice**を選択します。
- 4 必要であれば、**Start Notice Mode**を選択します。
- 5 オプションを選択します。
  - ・ **Once**を選択します。
  - ・ **Repeat > Repeat Delay**を選択し、アラームを遅らせる時間を変更します。

## システム設定

- ✱ > **System**を選択します。
- ・ GPS 設定 (15ページ)
  - ・ 画面設定 (15ページ)
  - ・ データ記録設定 (15ページ)
  - ・ 単位設定 (15ページ)
  - ・ 構成設定 (15ページ)
  - ・ 言語設定 (15ページ)
  - ・ 音設定 (15ページ)

## GPS設定

### 室内でのトレーニング

室内でトレーニングをしている時や電池をあまり使いたくない時はGPSをoffすることができます。

ホーム画面から **✖** > **System** > **GPS** > **GPS Mode** > **Off** を選択します。

GPSがoffの時、速度や距離のデータを製品に送るオプションのセンサー（スピード、ケイデンスモニターのような）を持っていない限り速度や距離は利用できません。次回製品の電源を入れた時、もう一度衛星信号を検索します。

### 高度を設定する

現在位置の正確な高度が分かれば、製品上で高度計を手動で校正することができます。

- 1 ホーム画面から **✖** > **System** > **GPS** > **Set Elevation** を選択します。
- 2 高度を入力し、**✓** を選択します。

### 衛星を確認する

衛星ページは現在のGPS情報を示しています。

GPSに関するより詳細な情報は [www.garmin.com/aboutGPS](http://www.garmin.com/aboutGPS) を参照してください。

ホーム画面から **✖** > **System** > **GPS** > **View Satellites** を選択します。

ページ下部にGPS精度が表示されます。緑の棒がそれぞれの衛星信号の強度を表しています。（それぞれの棒の下に衛星の数が表示されます）

### 画面設定

**✖ System** > **Display** を選択します。

**Auto Brightness:** 周囲の明るさに基づいて自動的にバックライトの明度を調節します。

**Backlight Timeout:** バックライトがオフになる前の時間を設定します。

**Color Mode:** 製品が昼、または夜の色を表示するように設定します。日時に基づいて自動的に昼夜の色を設定するように **Auto** を選択します。

**Orientation:** 縦表示か横表示かを設定します。

**Screen Capture:** 製品の画面上で写真を撮ることができます。

### データ記録設定

**✖ System** > **Data Recording** を選択します。

**Record To:** データを保管する場所を設定します。  
(10ページ)

**Recording Interval:** 製品がどのようにアクティビティデータを記録するかコントロールします。スマートオプションはユーザーが方向、速度、心拍数を変更したキーポイントを記録します。1秒のオプションは毎秒ポイントを記録します。アクティビティの詳細な記録と保存ファイルの拡張をします。

**Cadence Averaging:** ペダルを踏んでいない時、ケイデンスデータの0の値を含むかどうかをコントロールします。  
(7ページ)

**Power Averaging:** ペダルを踏んでいない時、パワーデータの0の値を含むかどうかをコントロールします。  
(7ページ)

### 測定の単位を変更する

距離、速度、高度、気温、体重、位置フォーマット、時間フォーマットの測定単位を変更することができます。

- 1 **✖** > **System** > **Unit** を選択します。
- 2 測定タイプを選択します。
- 3 設定のために測定単位を選択します。

### 製品の音を設定する

ホーム画面から、**✖** > **System** > **Tones** を選択します。

### 製品の言語を変更する

ホーム画面から、**✖** > **System** > **Language**。

### 構成設定を変更する

最初の設定で構成した全ての設定を変更することができます。

- 1 **✖** > **System** > **Device Reset** > **Initial Setup** を選択します。
- 2 画面の指示に従います。

### タイムゾーン

製品の電源をつけ、衛星を得るたびに、製品は自動的にタイムゾーンと現在の日時を検出します。

## 製品情報

### 仕様

#### Edge仕様

電池タイプ	再充電可能なリチウムイオン電池
電池寿命	一般的な使用法で15時間
動作気温の範囲	-20° から60°C (-4° から140°F)
充電の気温の範囲	0° から40°C (32° から104°F)
ラジオ周波数/プロトコル	2.4 GHz ANT+無線通信プロトコル Bluetooth Smart無線機能 Wi Fi機能
防水気圧	IEC 60529 IPX7*

\*製品は付随的な水へのさらしにたいして1m、30分耐えます。より詳細な情報に関しては[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating)を参照してください。

#### ハートレートモニター仕様

電池タイプ	取り替えることができるCR2032, 3 volts
電池寿命	1日1時間で最大4.5年
耐水性	3 ATM* 注意: この製品は泳いでいる間、心拍数を送りません
動作気温の範囲	-5° から50°C (23° から122°F)
ラジオ周波数/プロトコル	2.4 GHz ANT+ 無線通信プロトコル

\*製品は30mの深さと同等の圧力に耐えます。より詳細な情報は[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating)を参照してください。

#### スピードセンサーとケイデンスセンサーの仕様

電池タイプ	取り替えることができるCR2032, 3 volts
電池寿命	おおよそ12ヶ月(1日1時間)
作用する気温の範囲	-20°から60°C (-4°から140°F)
ラジオ周波数/プロトコル	2.4 GHz ANT+無線通信プロトコル
防水気圧	1 ATM*

\*製品は10mの深さと同等の圧力に耐えます。より詳細な情報は[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating)を参照してください。

## 製品ケア

### 注意

高温が起こりうる場所に製品を保管しないでください。永続的な損傷を引き起こします。

画面のタッチ操作で堅いまたはとがったものを使わないでください。損傷の原因となります。

化学クリーナーや溶剤はプラスチック成分に損傷を与えるるので避けてください。

USBポートへの損傷を避けるために保護キャップはしっかりとつけてください。

### 製品を清掃する

1 弱い洗浄液で湿らせた布を使って拭きます。

2 乾いた布で拭きます。

### ハートレートモニターのカバー

#### 注意

ストラップを洗う前にモジュールを取り外さなければいけません。

ストラップを濡らしたり塩をかけたりすると、ハートレートモニターの正確なデータ伝達能力を下げることになります。

- ・ [www.garmin.com/HRMcare](http://www.garmin.com/HRMcare)を開いて、詳細な洗濯表示をみてください。
- ・ 使用するごとにストラップをすすぎます。
- ・ 7回使用するごとにストラップを洗濯機で洗います。
- ・ ストラップを乾燥機にはかけないでください。
- ・ ストラップを乾かす時はかけるか平らな場所に置きます。
- ・ ハートレートモニターを長く使用するために、使っていない時はモジュールを外します。

## 電池交換

### ⚠ 危険

電池を外す際にとがったものは使わないでください。

電池は子どもの手の届かないところで保存してください。

絶対に電池を口の中に入れてください。万が一飲み込んだ場合は医師に相談してください。

コイン型電池を交換するときは過塩素酸塩を含むことがあります。特別な取り扱いを適用しています。 [www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate](http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate)を参照してください。

### ⚠ 警告

適切に電池をリサイクルするために近くのゴミ処分所にお問い合わせください。

### ハートレートモニターの電池交換

- 1 小さい+ドライバーを使ってモジュールの後ろにある4つのネジを外します。
- 2 カバーと電池を外します。



3 30秒待ちます。

4 +の面を上にして新しい電池を入れます。

注意: 輪のガスケットを破損、紛失しないでください。

5 後ろのカバーと4つのネジを取り付けます。

注意: きつく締めすぎないでください。

ハートレートモニターの電池を取り替えた後、再度製品とペアリングする必要があります。

### スピードセンサー、ケイデンスセンサーの電池交換

2回転の後、低いバッテリーレベルを示すためにLEDが赤く光ります。

1 センサーの後ろに丸いバッテリーカバー ①が位置しています。



2 マーカーがunlockedを向き、カバーが外すのに十分ゆるくなるまでカバーを左回りに回します。

3 カバーと電池 ②を外します。

ヒント: カバーから電池を取り外すためにテープ ③かマグネットを使うことができます。



4 30秒待ちます。

5 極性を確認して、カバーに新しい電池を取り付けます。

注意: 輪のガスケットを損傷、紛失しないでください。

6 マーカーがlockedを向くまで時計回りに回します。

注意: 電池を取り付けた後、数秒LEDが赤と緑に光ります。LEDが緑に光ってそれが止まると、製品は動いていてデータを送る準備ができたということです。

## トラブルシューティング

### 製品をリセットする

製品が何も反応しなくなったら、リセットする必要があります。データや設定は消えません。

⌚を10秒間長押しします。

製品がリセットし、電源がつかます。

### ユーザーのデータを明らかにする

製品の全ての設定を初期設定の値に戻すことができます。

注意: これは全てのユーザーが入力した情報が消去されますが、履歴は消去されません。

✖> System > Device Reset > Factory Reset ✔を選択します。

### 稼働時間を最大にする

・ バックライトの明るさと時間を減らします。

(2ページ)

・ インターバルの記録でSmart を選択します。

(15ページ)

・ Auto Sleep機能をつけます。

(17ページ)

- Bluetoothの無線機能をオフにします。  
(13ページ)
- 無線接続をオフにします。(14ページ)

### 自動スリープを使う

無活動状態の5分後に自動的にスリープモードに入る自動スリープを使うことができます。スリープモードの間は画面がオフになり、ANT+センサー、Bluetooth、GPSは繋がれません。製品が眠っている間、Wi-Fiは動き続けます。

- 1 ホーム画面から✖ > **Activity Profile**を選択します。
- 2 プロフィールを選択します。
- 3 **Auto Features > Auto Sleep**を選択します。

### GPS衛星受信の向上

- 製品を無線ネットワークに接続します。  
衛星情報は無線で製品にダウンロードされます。  
衛星信号のすばやい検索をさせます。
- 製品とBluetoothが有効なスマートフォンをペアリングします。  
衛星情報は製品に送られます。  
衛星信号のすばやい検索をさせます。
- 高い建物や木から離れた外の開けた場所に製品を持って行きます。
- 数分間静止状態にしておきます。

### より詳細な情報を得る

- www.garmin.com/intosportsを開きます。
- www.garmin.com/learningcenterを開きます。
- http://buy.garmin.comを開くか、オプションのアクセサリや取り換え部品については弊社までお問い合わせ下さい。

### 温度測定値

製品は日光に直接あたっていたり、手に持っていたり、外部の電池パックで充電したりしていたら正確な空気温度より高い温度測定値を表示するかもしれません。また、製品は著しい温度変化の調整にしばらく時間がかかります。

### 製品情報を見る

ID、ソフトウェアのバージョン、使用契約を見ることができます。

ホーム画面から✖ > **System > About**を選択します。

### Oリングを取り付ける

バンド(Oリング)の取り付けは2サイズの標準マウントで利用できます。

- 1.3" x 1.5" x 0.9 in. AS568-125
- 1.7" x 1.9" x 0.9 in. AS568-131

注意: Ethylene Propylene Diene Monomer (EPDM)はバンドだけを取り付けるのに使います。<http://buy.garmin.com>を開くか弊社までお問い合わせください。

### サポートとアップデート

Garmin Expressはガーミン製品の次のサービスへの簡単なアクセスを提供しています。

- 製品登録
- 製品マニュアル
- ソフトウェアアップデート
- Garmin Connectにデータをアップロードする
- 地図、グラフ、コースのアップデート

### ソフトウェアをアップデートする

製品のソフトウェアをアップデートする前に、Garmin Connectのアカウントを取得し、Garmin Expressのアプリケーションをダウンロードしなければいけません。

- 1 USBケーブルを使って製品をパソコンに繋がめます。  
新しいソフトウェアが利用できる時はGarmin Expressが製品に送ります。
- 2 画面の指示に従います。
- 3 アップデートしている間はパソコンから製品を外さないでください。

注意: Wi-Fi接続している製品がすでにGarmin Expressを使う設定をしていたら、Garmin Connectは製品がWi-Fi接続をしている時自動的に利用できるソフトウェアを製品にダウンロードします。

## 付録

### データ項目

データ表示にANT+アクセサリを要するデータ項目もあります。

**Balance (バランス)** : 現在の左右のパワーバランス

**Balance - 10s Avg. (バランス-10セカンドアベレージ)** : 左右のパワーバランスの10秒の平均

**Balance - 30s Avg. (バランス-30セカンドアベレージ)** : 左右のパワーバランスの30秒の平均

**Balance - 3s Avg. (バランス-3セカンドアベレージ)** : 左右のパワーバランスの3秒の平均

**Balance - Avg. (バランス-アベレージ)** : 現在のアクティビティの左右のパワーバランスの平均

**Balance - Lap (バランス-ラップ)** : 現在のラップの左右のパワーバランスの平均

**Battery Level (バッテリーレベル)** : 電池残量

**Cadence (ケイデンス)** : 1分毎のクランクアームの回転数またはストライド数。製品はこのデータが表示されるようにケイデンスアクセサリと繋がなければならない。

**Cadence - Avg. (ケイデンスアベレージ)** : 現アクティビティの平均ケイデンス。

**Cadence - Lap (ケイデンスラップ)** : 現ラップの平均ケイデンス。

**Calories (カロリー)** : 総消費カロリー。

**Calories to Go (カロリーズトゥゴー)** : ワークアウト中、カロリー目標を使っている時の残っているカロリー。

**Course Pt. Dist. (コースポイントディスタンス)** : コース上の次のポイントまでの残っている距離。

**Di2 Battery Level (Di2バッテリーレベル)** : Di2センサーの電池残量。

**Dist. - Lap (ディスタンスラップ)** : 現在のラップで進んだ距離。

**Dist. - Last Lap (ディスタンスラストラップ)** : 最後に完了したラップでの進んだ距離。

**Dist. to Dest. (ディスタンストゥディステーション)** : 最終目的地までの残り距離。データが表示されるまでナビゲートが必要。

**Dist. to Go (ディスタンストゥゴー)** : ワークアウトやコース中、距離目標を使っている時の残っている距離。

**Dist. to Next (ディスタンストゥネクスト)** : ルート上の次のウェイポイントまでの残り距離。データ表示までナビゲートが必要。

**Distance (ディスタンス)** : 現在のトラックやアクティビティで進んだ距離。

**Elevation (イレベーション)** : 海拔高度。

**ETA at Destination (ETAアットディステーション)** : 最終目的地に着く日時予測。(目的地の現地時間に合わせた)データが表示されるまでナビゲートを要する。

**ETA at Next (ETAアットネクスト)** : ルート上の次のウェイポイントに着く日時予測。(目的地の現地時間に合わせた)データが表示されるまでナビゲートを要する。

**Front Gear (フロントギア)** : Di2センサーの自転車の前のギア。

**Gear Ratio (ギアレイショウ)** : 前の歯と後ろのギアの数。

**Gears (ギアーズ)** : Di2センサーの前と後ろの自転車のギア。

**GPS Accuracy (GPSアキュレイシー)** : 正確な位置の誤差の範囲。例えば、GPSの位置が+/- 3.65m以内なら正確である。(12 ft.)

**GPS Signal Strength (GPSシグナルストレングス)** : GPS衛星信号の強度。

**Grade (グレード)** : 走行中の上昇(標高)の計算。例えば、3m上昇して60m進んだとしたら、グレードは5%になる。

**Heading (ヘディング)** : 動いている方向。

**Heart Rate (ハートレート)** : 毎分 (bpm) の心拍数。製品を対応しているハートレートモニターと繋ぎなければならぬ。

**HR - %HRR (ハートレート-%ハートレトリザーブ)** : 心拍数リザーブの割合。(最大心拍数-安静時心拍数)

**HR - %Max. (ハートレート-%マックス)** : 最大心拍数の割合。

**HR - Avg. (ハートレートアベレージ)** : 現在のアクティビティの平均心拍数。

**HR - Avg. %HRR (ハートレート-アベレージ%HRR)** : 現在のアクティビティの心拍数リザーブの平均割合。(最大心拍数-安静時心拍数)

**HR - Avg. %Max. (ハートレート-アベレージ%マックス)** : 現在のアクティビティの最大心拍数の平均割合。

**HR Graph (ハートレートグラフ)** : 現在の心拍数の棒グラフ。(1から5)

**HR - Lap (ハートレート-ラップ)** : 現ラップの平均心拍数。

**HR - Lap %HRR (ハートレート-ラップ%ハートレトリザーブ)** : 現ラップの心拍リザーブの平均割合。(最大心拍数-安静時心拍数)

**HR - Lap %Max. (ハートレート-ラップ%マックス)** : 現ラップの最大心拍数の平均割合。

**HR - Last Lap (ハートレート-ラストラップ)** : 最後に完了したラップの平均心拍数。

**HR to Go (ハートレートトゥゴー)** : ワークアウト中、心拍目標を上回ったり、下回った量。

**HR Zone (ハートレートゾーン)** : 心拍数の範囲。(1から5) 既定のゾーンはユーザープロフィールと最大心拍数に基づいています。(220マイナス年齢)

**Laps (ラップ)** : 現アクティビティでの完了したラップ数。

**Location at Dest. (ロケーションアットDest)** : ルートやコースの最後のポイント。

**Location at Next (ロケーションアットネクスト)** : ルートやコースの次のポイント。

**Odometer (オドメーター)** : 全ての走行距離の総計。データをリセットした時はこの総計は消去されません。

**PCO: プラットフォームセンターオフセット。** これはユーザーがペダルに力を加えている位置。

**PCO - Avg. (PCO-アベレージ)** : 現アクティビティの平均プラットフォームセンターオフセット。

**PCO - Lap (PCO-ラップ)** : 現ラップの平均プラットフォームセンターオフセット。

**Pedal Smoothness (ペダルスムーズネス)** : ペダルのストロークを通しての走行者がペダルに加えている力の測定。

**Power (パワー)** : 現在の出力ワット数。

**Power - %FTP (パワー-%FTP)** : 実行出力閾値の現在の出力。

**Power - 10s Avg. (パワー-10セカンドアベレージ)** : 10秒間の平均出力。

**Power - 30s Avg. (パワー-30セカンドアベレージ)** : 30秒間の平均出力。

**Power - 3s Avg. (パワー-3セカンドアベレージ)** : 3秒間の平均出力。

**Power - Avg. (パワー-アベレージ)** : 現アクティビティの平均出力。

**Power - IF (パワー-IF)** : 現アクティビティでの強度因子。

**Power - kJ (パワーキロジュール)** : キロジュールでの蓄積された出力。

**Power - Lap (パワーラップ)** : 現ラップでの平均出力。

**Power - Lap Max. (パワーラップマックス)** : 現ラップの最大出力。

**Power - Last Lap (パワーラストラップ)** : 最後に完了したラップの平均出力。

**Power - Max. (パワーマックス)** : 現アクティビティの最大出力。

**Power - NP (パワーNP)** : 現アクティビティの正規化パワー。

**Power - NP Lap (パワーNPラップ)** : 現ラップの平均正規化パワー。

**Power - NP Last Lap (パワーNPラストラップ)** : 最後に完了したラップの平均正規化パワー。

**Power Phase - L. (パワーフェーズ-L)** : 左足の現在のパワーフェーズ角度。パワーフェーズは力を生み出しているペダルストロークの範囲である。

**Power Phase - L. Avg. (パワーフェーズLアベレージ)** : 現アクティビティでの左足の平均パワーフェーズ角度。

**Power Phase - L. Lap (パワーフェーズLラップ)** : 現ラップでの左足の平均パワーフェーズ角度。

**Power Phase - L. Peak (パワーフェーズLピーク)** : 左足の現在のパワーフェーズピーク角度。パワーフェーズピークは動かしている力のピーク部分に渡る角度の範囲である。

**Power Phase - L. Peak Avg. (パワーフェーズLピークアベレージ)** : 現アクティビティでの左足の平均パワーフェーズピーク角度。

**Power Phase - L. Peak Lap (パワーフェーズLピークラップ)** : 現ラップの左足の平均パワーフェーズピーク角度。

**Power Phase - R. (パワーフェーズR)** : 右足の現在のパワーフェーズ角度。パワーフェーズは力を生み出しているペダルストロークの範囲である。

**Power Phase - R. Avg. (パワーフェーズRアベレージ)** : 現アクティビティの右足の平均パワーフェーズ角度。

**Power Phase - R. Lap (パワーフェーズRラップ)** : 現ラップでの右足の平均パワーフェーズ角度。

**Power Phase - R. Peak (パワーフェーズRピーク)** : 右足の現在のパワーフェーズピーク角度。パワーフェーズピークは動かしている力のピーク部分に渡る角度の範囲である。

**Power Phase - R. Peak Avg. (パワーフェーズRピークアベレージ)** : 現アクティビティでの右足の平均パワーフェーズピーク角度。

**Power Phase - R. Peak Lap (パワーフェーズRピークラップ)** : 現ラップの右足の平均パワーフェーズピーク角度。

**Power - TSS (パワーTSS)** : 現アクティビティでのトレーニングストレススコア。

**Power - watts/kg (パワーワット/kg)** : キログラムごとの総出力ワット数。

**Power Zone (パワーゾーン)** : FTPやカスタム設定に基づいた現在の出力範囲。(1から7)

**Rear Gear (リアギア)** : Di2センサーの後部自転車のギア。

**Reps to Go (レプストゥゴー)** : ワークアウト中、残っている反復。

**Speed (スピード)** : 現在の進んでいる割合。

**Speed - Avg. (スピードアベレージ)** : 現アクティビティの平均速度。

**Speed - Lap (スピードラップ)** : 現ラップの平均速度。

**Speed - Last Lap (スピードラストラップ)** : 最後に完了したラップの平均速度。

**Speed - Max. (スピードマックス)** : 現アクティビティの最大速度。

**Sunrise (サンライズ)** : GPSの位置に基づいた日の出時刻。

**Sunset (サンセット)** : GPSの位置に基づいた日の入り時刻。

**Temperature (テンパラチャー)** : 大気の気温。体温は気温センサーに影響する。

**Time (タイム)** : 現アクティビティのストップウォッチの時間。

**Time - Avg. Lap (タイムアベレージラップ)** : 現アクティビティの平均ラップタイム。

**Time - Elapsed (タイムイラプス)** : 記録された合計時間。例えばタイマーをスタートさせ10分走行し、5分タイマーを止め、またタイマーをスタートさせ20分走行したとしたらイラプスタイムは

35分になる。

**Time – Lap (タイムラップ)**：現ラップのストップウォッチの時間。

**Time - Last Lap (タイムラストラップ)**：最後に完了したラップのストップウォッチの時間。

**Time of Day (タイムオブデイ)**：現在の位置と設定（フォーマット、タイムゾーン、デイトライトセービングタイム）に基づいた現在の時刻。

**Time Seated (タイムシーテッド)**：現アクティビティでペダルを漕いでいる間の座っていた時間。

**Time Seated Lap (タイムシーテッドラップ)**：現ラップでペダルを漕いでいる間の座っていた時間。

**Time Standing (タイムスタンディング)**：現アクティビティでペダルを漕いでいる間立っていた時間。

**Time Standing Lap (タイムスタンディングラップ)**：現ラップでペダルを漕いでいる間立っていた時間。

**Time to Dest. (タイムトゥDest)**：目的地に着くまでに残っている予測時間。データ表示までナビゲートを要する。

**Time to Go (タイムトゥゴー)**：ワークアウト中、時間目標を使っている時の残り時間。

**Time to Next (タイムトゥネクスト)**：ルートで次のウェイポイントに着くまでの残り予測時間。データ表示までナビゲートを要する。

**Torque Effectiveness (トルクエフェクティブネス)**：ペダルを漕いでいる時の効率測定。

**Total Ascent (トータルアセント)**：最後にリセットした時から上昇した総標高距離。

**Total Descent (トータルディセント)**：最後にリセットした時から下降した総標高距離。

**Vertical Speed (バーティカルスピード)**：時間とともに上昇、下降した割合。

**VS - 30s Avg. (VS30セカンドアベレージ)**：30秒間の平均バーティカルスピード。

**Workout Step (ワークアウトステップ)**：ワークアウト中の総ステップ数の現在のステップアウト。

## ハートレートゾーンの表

ゾーン	最大心拍数の割合	状態	効果
1	50-60%	リラックスしている安定した呼吸	有酸素運動の基礎ストレスの軽減
2	60-70%	快適なペース 会話をするのに少しきつさを感じる呼吸	基本的な心循環系のトレーニング 良い回復ペース
3	70-80%	適度なペース 会話を続けるのが難しい	有酸素能力の向上 最適な心循環系のトレーニング
4	80-90%	速いペースで少しきつい力強い呼吸	有酸素能力と閾値の向上 速度の向上
5	90-100%	全力のペース 長時間の維持は困難 苦しい呼吸	有酸素と筋肉の持久力 力の増強

## 車輪のサイズと円周

車輪のサイズはタイヤの両サイドに記されています。これは総合的なリストではありません。インターネットで利用できる計算機を使うこともできます。

車輪のサイズ	L (mm)
12 ´ 1.75	935
14 ´ 1.5	1020

車輪のサイズ	L (mm)
14 ´ 1.75	1055
16 ´ 1.5	1185
16 ´ 1.75	1195
18 ´ 1.5	1340
18 ´ 1.75	1350
20 ´ 1.75	1515
20 ´ 1-3/8	1615
22 ´ 1-3/8	1770
22 ´ 1-1/2	1785
24 ´ 1	1753
24 ´ 3/4 Tubular	1785
24 ´ 1-1/8	1795
24 ´ 1-1/4	1905
24 ´ 1.75	1890
24 ´ 2.00	1925
24 ´ 2.125	1965
26 ´ 7/8	1920
26 ´ 1(59)	1913
26 ´ 1(65)	1952
26 ´ 1.25	1953
26 ´ 1-1/8	1970
26 ´ 1-3/8	2068
26 ´ 1-1/2	2100
26 ´ 1.40	2005
26 ´ 1.50	2010
26 ´ 1.75	2023
26 ´ 1.95	2050
26 ´ 2.00	2055
26 ´ 2.10	2068
26 ´ 2.125	2070
26 ´ 2.35	2083
26 ´ 3.00	2170
27 ´ 1	2145
27 ´ 1-1/8	2155
27 ´ 1-1/4	2161
27 ´ 1-3/8	2169
650 ´ 35A	2090
650 ´ 38A	2125
650 ´ 38B	2105
700 ´ 18C	2070
700 ´ 19C	2080
700 ´ 20C	2086
700 ´ 23C	2096
700 ´ 25C	2105
700 ´ 28C	2136
700 ´ 30C	2170
700 ´ 32C	2155
700C Tubular	2130
700 ´ 35C	2168
700 ´ 38C	2180
700 ´ 40C	2200

## アフターサービス

正常なご使用状態で保証期間中故障した場合は保証書を弊社サービス室にお送り下さい。

保証内容は保証規定に記載した通りです。

補修部品の保存期間は製造停止後3-5年です。

修理時代替品を使用させていただく場合もあります。

ご使用状況によっては精度が仕様通りにならない場合があります。

### 保証規定

1. 本取扱説明書に従ったご使用状態で万一故障した場合、ご購入日より一年間無償で修理致します。
2. 修理の必要が生じた場合、製品に保証書を添えて弊社サービス室に郵送料お客様ご負担でご郵送願います。
3. 保証期間を問わず以下の場合の修理は有償となります。
  - A. 誤用、乱用、取扱の不注意による故障
  - B. 天災、盗難等の災害による故障
  - C. 不当な修理、改造、異常電圧による故障
  - D. 使用中に生じた傷等の外観の変化、変形
  - E. 保証書の提示が無い場合、ご購入日の記載が無い場合